

[ニュースに戻る。](#)

SEM CATEGORIA 27 de 9月 de 2026

ダニロ・カイミとヒカルド・バセラルが、 ブラジル北東部の歴史を表現したシングル 「A Água Que Faltou no Céu (ア・アグア・ ケ・ファルトウ・ノ・セウ)」をリリース



9月17日に各配信プラットフォームで公開される新曲「**A Água Que Faltou no Céu (ア・アグア・ケ・ファルトウ・ノ・セウ／和訳：空から消えた水)**」は、ダニロ・カイミとヒカルド・バセラルが初めてタッグを組んだ新アルバムの発表に先駆けてリリースされます。

ブラジルには、北東部の伝説的な歴史があります。その一つが、ランピオンとして知られるヴィルグリーノ・フェレイラ・ダ・シルヴァに関する物語です。彼は「カンガッソの王」と呼ばれ、19世紀末～20世紀前半にかけて、社会問題や権威主義に対抗して盛んになった武装強盗を代表する人物でした。(※「カンガッソ」とは、当時の武装盗賊団の総称。)

「カンガセイロ」(男女問わず盗賊団のメンバーを指す呼称)たちは、革の帽子を被り武器を携えており、権力の乱用が横行していた時代背景のなかで犯罪行為をしていました。一部の人々は、カンガッソ(盗賊団)は、政府の権威主義がもたらした社会問題に対し、セルターネージョ(内陸部の住民)を守るために生まれたと説明しています。

こうした背景のもとリリースされる本シングル曲「**A Água Que Faltou no Céu (ア・アグア・ケ・ファルトウ・ノ・セウ／和訳：空から消えた水)**」は、現在もブラジルで広く知られている盗賊ランピオンが率い

たギャング団の最年少メンバーであり、伝説的な存在である、通称ヴォルタ・セッカことアントニオ・ド・サントスの楽曲を、音楽的・歴史的に再評価する取り組みの幕開けとなるものです。

ランピオン

ダニロ・カイミとヒカルド・バセラルは、ヴォルタ・セッカが約50年前に発表したレコード『Cantiga de Lampião (カンティガ・デ・ランピオン／和訳：ランピオンの歌)』の楽曲に現代的な解釈を加えた**新アルバム『Volta Seca – Canções do Cangaço (ヴォルタ・セッカ——カンソインス・ド・カンガッソ／和訳：ヴォルタ・セッカ——カンガッソの歌)』**(ジャスミン・ミュージック)を制作。10月16日に各プラットフォームで同アルバムの配信が開始されます。

1957年に発表された音楽的至宝であるヴォルタ・セッカのアルバムには、彼自身が8曲を録音しており、指揮者ギオ・デ・モライスによる編曲が施されています。それが、今回の新アルバムのインスピレーションの源となっています。

本シングル曲「A Água Que Faltou no Céu (ア・アグア・ケ・ファルトウ・ノ・セウ／和訳：空から消えた水)」は、今回の新アルバムの中で唯一、ヴォルタ・セッカによる楽曲ではない新曲で、今回ジャスミン・スタジオでの制作過程のなかで生まれたものです。これは、ダニロ・カイミとヒカルド・バセラル、そしてセアラ州出身の作曲家ルイス・リマ・ヴェルデによる共作で、海を見たことのないカンガセイロ(盗賊団のメンバー)の姿からインスピレーションを得ています。

本シングル曲のリリースに合わせて、9月18日には**ガブリエル・ラジェ監督によるミュージックビデオがYouTubeで初公開**されます。

ヴォルタ・セッカを取り上げるというアイデアは、ダニロ・カイミが発案したものです。「YouTubeで研究者ロベリオ・サントスのチャンネル『O cangaço na literatura (和訳：文学におけるカンガッソ)』を見つけました。これは、セルジッペ州出身のロベリオが、半乾燥地帯に赴き、盗賊団が通った場所や野营地、襲撃された町などを巡り、数々の物語を綴るプロジェクトです。このチャンネルで私はヴォルタ・セッカの楽曲を知り、すぐに新しいアレンジを加えてレコーディングしようというアイデアが浮かびました」とダニロ・カイミは語ります。ダニロ・カイミとヒカルド・バセラルの架け橋となったのは、ヴォルタ・セッカの作品を管理し、本プロジェクトのパートナーでもある音楽出版社Editora Todamérica(エディトーラ・トダメリカ)でした。「私たちはすぐに意気投合しました。ヒカルド・バセラルはこの企画を大変気に入り、フォルタレザにある自身のスタジオでアルバムをプロデュースすることに決めました。出来上がった作品は、とても美しく、完成度の高い仕上がりになりました」とダニロは言います。

ヒカルド・バセラルは次のように語っています。「ダニロと私は、ヴォルタ・セッカの楽曲を創作し、レコーディングし、再解釈するなかで素晴らしい時間を過ごしました。また、アルバムに収録されている9曲のアレンジを私が担当しました。そのうち7曲はマルシオ・レゼンデと、1曲はステニオ・ゴンサルヴェスと共同で手掛けました。アルバムにより現代的な表現を加えるために、シンプルなハーモニーを持つこれらの短い楽曲にどのようにアプローチするのが最善か、かなりの時間をかけて模索しました。この制作プロセス全体が、北東部の音楽に関する綿密な調査の成果です。セアラ州出身の私にとって、生まれ育った環境に深く根ざしたこの世界に没頭できることは、この上ない喜びです。」

10月16日にリリース予定の**アルバム『Volta Seca – Canções do Cangaço (ヴォルタ・セッカ——カンソインス・ド・カンガッソ／和訳：カンガッソの歌)』**の収録曲には、「Mulher Rendeira」、「Acorda Maria Bonita」、「Escuta Donzela」、「Sabino & Lampião」、「Eu Não Pensei Tão Criança」などが含まれています。

ヴォルタ・セッカを取り巻く神話の最大の魅力は、その音楽にあります。わずか11歳の時にギャングの一

味に加わった彼は、「カンガッソ」と呼ばれる盗賊団の生活を体験しただけでなく、ブラジルで知らぬ者はいない伝説のダークヒーロー、ランピオンの歌声や彼が演奏したアコーディオンの音色を耳にした作曲家でもあったのです。

本シングルは、プラットフォームで(<https://ffm.to/aguafaltounoceu.ODL>) 配信されます。

プロモーション動画 (YouTube) は以下リンクよりご覧ください：<https://youtu.be/ZSgGKoNzkzU>

— 情報について。

PRサポート

ブラジルと日本間のイベントやブランドに関するPRおよびコミュニケーション業務全体を担います。

お問い合わせ



2006年からコミュニケーションを通してブラジルと日本の架け橋をしています。

PR、SNSのコンテンツ・動画制作及びレイアウトデザインをしています。



LINKS

ホーム

事業紹介

ニュース

会社概要

お問い合わせ



〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-11-1 水信7F